



新型コロナウイルスの感染拡大で新年の恒例行事も対策を迫られており、迎春の光景は一変しそうです。

①感染防止のため、トキハなど大型商業施設が導入する取り組みはどんなことですか？

④福袋の予約を初めて取り入れたトキハ本店＝大分市府内町、撮影・江藤成吾⑤新型コロナウイルス対策で手水舎のひしゃくを撤去した春日神社＝大分市、撮影・仲道裕司



### 新型コロナ

### 県内

初売り、初詣も3密防止……。新型コロナウイルスの感染拡大で新年の恒例行事は対策を迫られている。大分県内の大型商業施設は福袋の販売を年内の予約に切り替える動きが相次ぐ。客の手間が増えるなど売り上げにはマイナスになりそうだが、「安全確保上、やむを得ない」と関係者。多くの参拝者が訪れる神社も入場制限などを検討している。迎春の光景は一変していった。

# 新年行事も〇〇対策

安心、安全を優先 トキハ(大分市)は福袋の予約を初めて取り入れた。本店、わさだタウン、別府店ともに1日から衣料品や生活雑貨などの売り場、一部オンラインでも受け付けている。購入者は年内に

## 初売り 福袋、予約制相次ぐ 初詣 入場数の制限検討

③春日神社の山本龍司禰宜(61)は初詣の参拝について何と呼び掛けていますか？

渡す。食品などを除き原則、初売りでは販売しない。例年約3万個を扱うが、今季は6割ほどに減る見込み。年始は開店前から大勢の人が列をつくり、目当ての売り場で競い合うように買い求める姿が風物詩になっている。「密状態を招くため、葛城雅浩取締役営業統括部長(60)は「安心、安全に買い物をしてもらう環境が最優先と判断した。」「売り上げは減る」

「JR大分駅ビル(同市)の商業施設「アミュープラザおおいた」も3密回避対策で予約を導入する。受け付け開始や引き渡しの日は各テナントで異なり、一部のアパレル店は既に完売した。例年通り、初売りで販売するシヨップもある。特定の時間帯だけ割引率を上乗せする1月上旬の「タイムセール」も取りやめる。運営するJR大分シティは「売り上げは減るだろう。予約者には特典を検討中。他のサービスを充実して補いたい」と話す。屋台の出店中止も大勢の人が初詣に訪れる

神社も対応に迫られる。三日の参拝者が約4万人に上る宇佐神宮(宇佐市)は本殿までの一方通行道を例年より長くし、行きと帰りの人々が対面する状況なるべく減らす。入場人数の制限も検討している。希望者が持参する御朱印帳への押印、記入も神職らが手で触れるのを避けるため、1日から見合わせている。代わりに同じ内容を書き入れた紙を渡す。同神宮は「コロナ禍で訪れる人がどのくらいになるか見当もつかない。感染が広がれば対策も強化する」と話す。

④見出しの〇〇に入る言葉は何でしょう？